

会 議 録

| | |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 の 名 称 | 第1回 日向市営墓地の在り方検討委員会 |
| 開 催 日 時 | 令和3年10月28日(木) 14時00分から15時40分まで |
| 開 催 場 所 | 日向市役所4階 委員会室 |
| 出 席 者 | 【委員】 三浦 雅典 (日向市区長公民館長連合会) 松岡 利夫 (日向市民生委員児童委員連絡協議会) 巖水 正朋 (市営納骨堂管理者) 黒木 雅人 (日向保健所) 茂 亮介 (日向東臼杵広域連合) 新名 恵美子 (公募委員・市営墓地使用者) 治田 幹生 (公募委員) 黒木 升男 (日向市市民環境部長) 【事務局】 石谷 英俊 (市民課長) 黒木 宗隆 (市民課課長補佐) 平山 凌 (市民課主事) |
| 議 題 | 会議資料「会次第」のとおり |
| 会議の資料の名称及び内容 | 1 会次第 2 日向市営墓地の在り方検討委員会名簿 3 資料1 委員会の目的と検討体制、検討内容について 4 資料2 市営墓地の現状と課題 5 資料3-1 お墓に関するアンケート調査結果(一般) 6 資料3-2 お墓に関するアンケート調査結果(市営墓地使用者) 7 資料4 今後のスケジュール |
| 記 録 方 法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |

会議内容

1 開会

2 委嘱状交付（代表交付）

3 市長挨拶

4 委員長、副委員長の選任

委員の互選により、委員長に三浦委員、副委員長に巖水委員を選出

5 委員及び事務局紹介

6 事務局説明

(1) 委員会の目的と検討体制、検討内容

(2) 日向市営城山墓園の現状と課題

(3) お墓に関する市民アンケート調査結果について事務局から説明

7 意見交換

質疑・意見等は以下のとおり。

(委員)

市営納骨堂の稼働率と、仮安置はどのくらいの期間預けられるのか、お聞きしたい。

(事務局)

市営納骨堂には、永久安置と仮安置の2種類がある。永久安置については、全区画貸し出しており返還もないことから、入れ替わりがない状況である。仮安置については空きがあり、預けられる期間は、原則1年間で最長3年間となっている。

(委員)

昭和50年に墓地、納骨堂ともに管理料を廃止しているが、その理由を知りたい。

(事務局)

管理料が廃止された経緯については記録が残っていないため、正確なところはわからない。考えられることとしては、当時は市営墓地の需要が高かったと思われることや、区画整理事業により移転を余儀なくされた方々に理解が得られにくかった等が考えられる。

(委員)

今までは、区画整理事業による地区墓地からの移転先として、市営墓地の需要があったが、区画整理事業が終われば需要は低下すると思う。今後の区画整理の計画は把握しているのか。

(事務局)

現在行っている財光寺南土地区画整理事業に関する墓地の移転は終了しているが、その後の区画整理の計画は把握していないため確認したい。

(委員)

今、散骨について叫ばれている中で、昨年国から散骨に関する方針が示されたと思うが、その件について事務局はどのような考えなのか。

(事務局)

散骨については、昨年厚生労働省科学特別研究事業による「墓地埋葬をめぐる現状と課題の調査研究」において、研究報告書がまとめられている。その中で、散骨に関する規制については、地方公共団体の自主的な判断に委ねると記載されている。

実際には、土地所有者や漁業者などとのトラブルも考えられるため、散骨を行う事業者に対する国のガイドラインも示されていて、国は散骨を認めていないわけではないと認識している。

(委員)

近年の傾向として、お墓より納骨堂を求める人が多いように感じる。市営納骨堂は築60年程度経っており、耐震面が危惧されるため、この委員会で合葬墓や納骨堂建設について議論できればと思う。

(委員)

市営墓地で、北側の区画に通じる道路の途中が山になっているが、このスペースに合葬墓や納骨堂を建設できないか。

(委員)

管理料は必要になると思うが、一方で、墓園内の植木などを伐採し、コンクリート張りにすることで、除草費用などの維持管理費等を抑えられないか検討する必要があると思う。

また、盆、正月など駐車スペースが足りないので、緑地部分を減らして道路を広げることなどできないか。

(事務局)

北側の区画に通じる道路と道路の間の土地については、当初の計画で建設予定地に含まれており、建設は可能と思われるが、造成する必要がある。また、植木の伐採については、市営墓地が都市公園法に基づく特殊公園に位置づけられているため、検討が必要である。さらに、道路の拡張については拡張する土地が必要であり、現実的には、盆、正月など墓参りが増える時期に限り、バスを運行させるなどの駐車場対策も考えられる。

7 今後のスケジュールについて

次回会議日程、今後のスケジュールについて事務局から説明。質疑・意見等は下記のとおり。

(委員)

事前に、協議内容が決まっているとスムーズに進行すると思うが、事務局の考えはどうか。

(事務局)

協議内容については、事前に資料を送付しお示ししたい。また、議論を深めるために、委員の皆さんが必要と思われる資料があれば、事務局に連絡いただきたい。

(委員)

この委員会の役割として、今ある市営墓地の問題点について検討していくのか、日向市全体のまちづくりとして墓地の問題を考えていくのか、事務局はどちらを考えているか。

(事務局)

まちづくりの一環として、市営墓地の今後の在り方について議論していただきたい。最終的に、この委員会での協議結果を市長に報告し、その内容を基に市で再検討する形を考えている。

15時40分ごろ「第1回日向市営墓地の在り方検討委員会」を終了。